Press Release

Daiichi-Sankyo

報道関係者各位

2026年11月2日

エンハーツ®の「国際ガリアン賞」受賞のお知らせ

第一三共株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 兼 CEO：奥澤 宏幸、以下「当社」）は、エンハーツ®（トラスツズマブ デルクステカン、抗HER2抗体薬物複合体（ADC）*、以下「本剤」）が、ベストバイオテクノロジー製品として、2026年国際ガリアン賞（International Prix Galien Award）を受賞しましたので、お知らせいたします。

ガリアン賞は、画期的な医薬品や医療技術製品の功績を称えるもので、製薬分野におけるノーベル賞に相当する栄誉賞として位置づけられています。過去2年以内に、世界各地のナショナル・ガリアン賞を受賞した医薬品は、ガリアン財団が2年ごとに授与する国際ガリアン賞の候補となります。本剤は、ベストバイオテクノロジー製品として2024年米国ガリアン賞（Prix Galien USA Award）を受賞しており、今回で2度目の受賞となります。国際ガリアン賞は、本年10月29日にニューヨークのアメリカ自然史博物館で行われた式典で授与されました。

当社の代表取締役社長 兼 CEOの奥澤 宏幸は、「この度、2度目となるガリアン賞を受賞できたことを大変光栄に思います。エンハーツ®は、2019年に米国で承認されて以来、HER2低発現およびHER2超低発現の患者さんにも治療の可能性を拡げ、転移性乳がんの分類と治療に変化をもたらしました。また、HER2陽性固形がんに対しがん種横断的に承認された初のHER2治療薬として、日米欧を含む多くの患者さんの治療の選択肢となりました。エンハーツ®の基盤となるDXd ADC技術を当社研究者が生み出したことは当社の誇りであり、今後もがん領域における革新的な新薬の創出を推進してまいります。」と述べています。

以上

* 抗体薬物複合体（ADC）とは、抗体と薬物（低分子化合物）を適切なリンカーを介して結合させた薬剤で、がん細胞に発現している標的因子に結合する抗体を介して薬物をがん細胞へ直接届けることで、薬物の全身曝露を抑えつつがん細胞への攻撃力を高めています。

第一三共の ADC パイプラインについて

第一三共の ADC パイプラインは、第一三共独自の ADC 技術プラットフォームから創製された、商業化・臨床開発段階にある9つの ADC から構成されています。

その中の7つの ADC は、がん細胞表面に発現する特定の抗原を標的とした抗体と、複数のトポイソメラーゼⅠ阻害剤（DXd）をリンカーを介して結合させ、がん細胞の内部へ DXd を届ける DXd ADC 技術を用いて創製されました。トラスツズマブ デルクステカン（エンハーツ®、抗 HER2 ADC）およびダトポタマブ デルクステカン（ダトロウェイ®、抗 TROP2 ADC）は、全世界（当社が独占的権利を有する日本は除く）においてアストラゼネカと共同で開発および商業化を進めています。イフィナタマブ デルクステカン（I-DXd/DS-7300、抗 B7-H3 ADC）、ラルドタツグ デルクステカン（R-DXd/DS-6000、抗 CDH6 ADC）およびパトリツマブ デルクステカン（HER3-DXd/U3-1402、抗 HER3 ADC）は、全世界（当社が独占的権利を有する日本は除く）において Merck & Co., Inc., Rahway, NJ, USA と共同で開発および商業化を進めています。DS-3939（抗 TA-MUC1 ADC）および DS3790（抗 CD37 ADC）は当社が単独で開発を進めています。

STING アゴニストとして作用する新規ペイロードを、Fc 領域に変異を導入したモノクローナル抗体に結合させた DS3610（STING アゴニスト ADC）および、DS1025（抗 CD25 ADC）は当社が単独で開発を進めています。

なお、イフィナタマブ デルクステカン、ラルドタツグ デルクステカン、パトリツマブ デルクステカン、DS-3939、DS3610、DS3790 および DS1025 は現在開発中の薬剤です。安全性および有効性はまだ確立されておらず、各国の規制当局による薬事承認は受けていません。

本件に関するお問い合わせ先

第一三共株式会社　広報部
TEL: 03-6225-1126